



4月に全国公開される大林宣彦監督の最新作映画「海辺の映画館—キネマの玉手箱」でヒロインに抜擢され、スクリーンデビューを飾ります。

人財彩時記

海辺の映画館—キネマの玉手箱
ヒロイン

よしだ

吉田

れい

玲さん

大林宣彦監督の最新作で ヒロインに

中学生の時、下関空襲を題材に梅光学院中学校・高校の生徒が制作したミュージカル映画「隣人のゆくえ」に出演しました。この映画が大林監督の目に留まり、今回ヒロインとして出演することが決まりました。

今作は、広島県尾道市の映画館が舞台で、戦争映画を見ていた3人の若者が映画の世界に入り込み、戦争を追体験する物語です。

初めてミュージカルを観て

私は小さい頃から、歌ったり踊ったりするのが大好きで、幼稚園の時に、友達が出演するミュージカルを観て、「私もこれをやりたい!」と、すぐに劇団への入団を決めました。レッスンは大変なこともあります。好きなことをしているので本当に楽しいです。

初めてミュージカルを観たこの時の感動と喜びは、今でも体の中につかり刻まれ、これからもあの時の直感を大切にしていきたいと思っています。

劇団のおかげで成長

劇団に入団してからは、表現力を身につける練習、歌いながら踊る練習などを行っています。

劇団では、年1回の本公演をはじめ、さまざまなイベントでのミュージカル公演に参加していま

す。本公演では二役を演じましたが、1日7時間の練習をして本番に臨みました。二役を演じるのは大変でしたが、私は、歌って踊ることが大好きなので、むしろ二役させていただき、とても嬉しかったです。

中学生の時、自分の思ったように演技ができなくて、舞台から逃げ出したくなったことがありました。その時は悩むより行動を優先することにし、まずは、舞台最前列の中央に立ち、私自身が楽しみながら役を演じました。すると、お客様が楽しそうに観てくださっているのがわかり、それまでの落ち込んだ気持ちは吹っ切れて自信に繋がり、自分の思うような演技ができるようになりました。

いろいろな役をこなせる女優へ

私を知らない人が、私のミュージカルを観て感動してくれることは本当に嬉しいです。たくさんの人に私のことを覚えてもらい、私が出演しているから観ようと思ってもらえるように頑張ります。

これからも、ミュージカルで得た経験を大切にしながら、さらに表現力を高めていきたいです。そして、舞台だけに留まらず、映画やドラマにも出演して演技の幅を広げていき、自分の中にあるまだ気がついていない別のキャラクターを発見したいと思っています。

(取材：金田、藤本)